

常磐每日新聞

日 刊
発行所 常磐毎日新聞社
〒980-0001 青森県青森市本町二丁目
電話 六三三〇
社 長 佐藤 謙
代 理 人 佐藤 謙
印刷所 常磐毎日印刷株式会社
〒980-0001 青森県青森市本町二丁目
電話 六三三〇

浄土に遊べ

真 繼 雲 山

浄土とは清浄の土といふことである。清浄の土とは清浄の世界といふことである。櫻の花が咲いてゐる、胸に櫻の花の咲いてゐる人は櫻の國に遊んでゐるのである。眼に清浄の國を見得る人はその心、浄土に遊んでゐるのである、これを己心の浄土といふ。

西方十萬億刹に阿彌陀如来あり、滅後に往いて相見し得ると念ずる人は他力の信心であるも、現身即時にその大覺如来にひとしとなし得る人あらばそれは己れに彌陀を發見し得る人であつてこれを唯心の形陀といふ唯心の浄土己心の彌陀となすも亦た同義である。浄土も彌陀も自己の心中にありとなすのは天臺、華嚴禪宗諸派の所談であつて聖道諸宗にも阿彌陀佛の信仰は固よりある、たゞこれを西方に見るかによりて聖道浄土の二門は岐れる、知らず現代人はその心に果たして何を見てゐるであらうか。

名な破地獄の文として

若人欲了知

三世一切佛

應觀法界性

一切唯心造

と説き「菩提和讃」は右の文を和譯し更に註して

若し人三世一切の佛を知らんと欲しなば、法界性を觀ずべし、一切唯心造なりとあまねく衆生を觀するに、おの

念不生にいたるとき、忽ち佛性現前し男女上下の隔てなく、そのまゝ即ち佛なり

【書】ぎせの豆腐、松茸のけやき
【朝】細引揚げ、紫おろしあへ
【晚】かれひ鹽やき、小かぶ甘酢

【明攀は血止に即効ある】
破璃器に水の中にアンモニヤ溶液を二三滴たらした中で洗ふと光澤が出る

といふてゐる。白隠禪師「坐禪和讃」には同じ意味を次ぎの文
衆生本來佛なり、水と氷の如くにて水をはれて氷なく、衆生の外に佛なし
と書き出されてゐる、「一念不生」に至るときが一文の骨子であり、森羅萬象一切は自らの心の造るところであると分つたのが悟れた

法相唯識の所談に従へば三界は唯心の所造であつて心外に別の法(物)はないといふ、これを華嚴經には有

時である。

一切が心の造るところでありとすれば、世の中の穢れた淺ましい姿の眼にうつてゐるのは世の中がけがれはさういふ風に映じてゐる

【朝】細引揚げ、紫おろしあへ
【書】ぎせの豆腐、松茸のけやき
【晚】かれひ鹽やき、小かぶ甘酢

【朝】細引揚げ、紫おろしあへ
【書】ぎせの豆腐、松茸のけやき
【晚】かれひ鹽やき、小かぶ甘酢

【朝】細引揚げ、紫おろしあへ
【書】ぎせの豆腐、松茸のけやき
【晚】かれひ鹽やき、小かぶ甘酢

【朝】細引揚げ、紫おろしあへ
【書】ぎせの豆腐、松茸のけやき
【晚】かれひ鹽やき、小かぶ甘酢

【朝】細引揚げ、紫おろしあへ
【書】ぎせの豆腐、松茸のけやき
【晚】かれひ鹽やき、小かぶ甘酢

【朝】細引揚げ、紫おろしあへ
【書】ぎせの豆腐、松茸のけやき
【晚】かれひ鹽やき、小かぶ甘酢

【朝】細引揚げ、紫おろしあへ
【書】ぎせの豆腐、松茸のけやき
【晚】かれひ鹽やき、小かぶ甘酢

【朝】細引揚げ、紫おろしあへ
【書】ぎせの豆腐、松茸のけやき
【晚】かれひ鹽やき、小かぶ甘酢

【朝】細引揚げ、紫おろしあへ
【書】ぎせの豆腐、松茸のけやき
【晚】かれひ鹽やき、小かぶ甘酢

【朝】細引揚げ、紫おろしあへ
【書】ぎせの豆腐、松茸のけやき
【晚】かれひ鹽やき、小かぶ甘酢

【朝】細引揚げ、紫おろしあへ
【書】ぎせの豆腐、松茸のけやき
【晚】かれひ鹽やき、小かぶ甘酢

【朝】細引揚げ、紫おろしあへ
【書】ぎせの豆腐、松茸のけやき
【晚】かれひ鹽やき、小かぶ甘酢

【朝】細引揚げ、紫おろしあへ
【書】ぎせの豆腐、松茸のけやき
【晚】かれひ鹽やき、小かぶ甘酢

【朝】細引揚げ、紫おろしあへ
【書】ぎせの豆腐、松茸のけやき
【晚】かれひ鹽やき、小かぶ甘酢

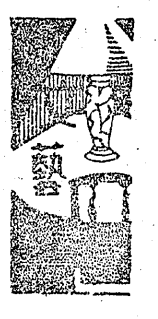
燈下雜筆 (五)

島田 忠夫

一茶の筆蹟

一茶の筆蹟といふのを各所で随分見たが、大島勇爵所藏の「松かげ」の句の外感心したもののが先づなかつた。先頃柏原の舊本陣中村貫一郎に於て、一茶の筆蹟百点許りを見せて貰つた。多くは一茶生前からこの家の爲めに残したもので、壯年から晩年に亘つて順を追ふて蒐集されてゐる。自分は昂奮し乍ら半日がかりで之を見たのである。

一茶の書は、壯年において稚拙なること甚だしく、墨色などまた話にならない晩年に及んで漸く枯れ澄んで来たが、稚拙なのに變りがない。しかるに終始しておほらかな幼みのあるのは童心一茶の面目躍如たるものがあつて、甚だうれしかつたのである。



短歌稿

栗原 北斗

あかあかと夕陽靜かに山に落ちて涼しき秋の風わたるなり
日は落ちて澄み透れる星空にわたる夜の風身に冷えて過ぎ
月の光に地にはふ木々の影黒く秋めきてあり風わたるなり

近日賣出す發賣品は 満海

一人前十五錢で満腹 平町三丁目

せ魚漢堂

電話 六三三三番

秋ヲ代表

イタシマス洋食

- アイスキール 茶
- ライスター 茶
- フラスター 茶
- ソフスター 茶
- ピフスター 茶
- メンチキン 紅
- 松茸 松
- 洋食・喫茶・宴会

コンパル

電話 六六六番

貸切の御用命は!

獅子吼(四四九)ノ勢デ

眞先ニ……(マツサキ)

三九ニタクシーへ!!!

關係方部民が大舉

高麗橋掛替陳情

七日町を経て...

縣に陳情書提出

平町當局では豫ねて失業救済事業として同町六間門から八幡小路に通ずる高麗橋架替を計畫工費四千餘圓を計上して縣當局に補助金交付を申請したが豫算の關係上却可され同橋架替案は遂に流産の形となつてゐたが此の程に至り同方部民間に架替熱再燃し關係區長は此の架替實現に就いて寄々

協議を進めてゐたが

七日廿四區長伊藤重善、十五區長赤塚勇吉、廿五區長鍋田三重氏以下六十餘名が連名で平町當局を経て次の如き陳情書を縣に提出した

陳情書

前略當陸橋は當町を横斷せる鐵道線路以北に在る臺地の中樞にて四通の要衝なるを以て町役場、警察署、稅務署、銀行等四五の者を除きたる即ち當町として主要なる公共的建築物と認むべきもの、大部は左掲の如く當橋中心に分布され居り就中小學生女學生等の日々當橋を経由するもの尠からざるを以て當橋梁の重要程度如何は御了知に難かざる事と存じ候(中略)前述の如く當町に於て取

記の通に有之候次第に付何卒特別の御詮議を以て當町理事者より申請中の縣費御補助の願意御開届相成度茲に隣接地區長及び關係民總代連署懇願に及候 以上

救済事業

着工

總工費二万五千圓 湯本町で

も今後の發展を期待され居るは鐵道線路以北の臺地一帶にして然して交通上の中心点たる高麗橋は現に縣費補助の下に架設せられたる前例あるのみならず當橋梁の設置すべきの必要を惹起せる因由は既記の如きものに之有尙其重要性に於ても亦前

石城梨東京出荷

合計三千兩

豫想に反して

賣行は良好

既報石城産長十郎梨の東京移出は大体昨日を以つて終了し販賣旋に上京中の郡農會内田書記も愈々本日引擧る事になつたが本年の移出数は十車で、三千箱を販賣としたが一時降雨續の爲め賣行き不良と豫想されたが前記三千箱の取引を見て昨年と大差ない良成績を得たと

各小學校

運動會

日取決る

秋の運動シーズンとなつた郡下では本日の平第二校運

B、平三A Bの五組にて高等科は平第一小學校唯一組であるといふ當日の役員及び各校のキャプテンは左の如くである

△役員(審判係)横井 大淵 小松 國分(記録)名尾 庄司(掲示)大村(タイム) 菅野(賞品)菅野 △キャプテン(廣野)根本芳

需要薄から

木炭生産激減

當業者蒼息吐息

濱三郡木炭同業組合管内九月中に於ける生産高は△石城五萬四千七百五十五俵△双葉四萬一千六百九十八俵△相馬一萬一千二百三十四俵合計十萬七千六百四十七俵で昨年同期に比較すると八千六百二十四俵の減額を示して居り本年四月以降の上半期に於いて前年より十二萬餘俵の減少を見て居るが此は需要薄の影響からで當業者は各々も蒼息吐息の態である

磐女軍

大勝

庭球戦に

既報磐城高等女學校庭球部にては昨日午後一時より好間及び平第一小學校生徒を迎へ試合を行なつたがヌーアーは左の如くいづれも磐女軍の勝に歸した

組頭會

日取協議

平警察署では来る十三日午前十時より管内消防の組頭を招集して組頭會議を開催するが協議案は秋季消防檢閲の期日の件及び来月五日日本消防協會主催で東北六縣北海道樺太の二廳六縣に

磐女職員

野球チーム

記者團や 磐中に挑戦

磐城高等女學校では昨日職員チームを組織し第一回の練習を行なつたがメンバーは左の如く近日磐中職員及び新聞記者團と對戦すると

教育會

總集會

十一月廿日 平第一校で

既報本縣教育石城部會役員會は昨日平第一小學校に於て開き来る十一月二十日平第一小學校に於て總集會を開く事に決定したが當日は基本金増成中止の件に就いて協議する外二十五年以上勤続者の表彰會員の演説及

磐中野外演習

中學校三年生二百四十名は本日八谷、小松兩教官指導の下に好間村上遠野方面に於て野外演習を行なつた

平町物價

△白米(一等)一キロ、一六〇
△白米(二等)一キロ、一五五
△白米(三等)一キロ、一五〇
△白麥 〃 〃 八〇
△平麥 〃 〃 一一五
△味噌 一貫目、五〇〇
△醬油 一升、三五〇
△清酒 〃 〃 一〇〇〇
△木炭(樞丸一貫目)一七〇
△木炭(樞丸)一五〇
△砂糖(赤)一五〇
△砂糖(白)一三〇
△豚肉(上)一三〇
△豚肉(並)一五〇
△牛肉(上)四〇〇
△牛肉(並)二五〇

謹告

荆妻たけ子病氣の處藥石無効十月六日午前五時十分死去致候間此段謹告候也

追而 送葬の儀は本月十日午後二時自宅出棺長橋町性源寺に於て佛式に依り相替み申候 昭和七年十月六日

山崎與三郎 山崎清三郎 山崎定治郎 山崎藤助郎 坂田正雄 吉田清太郎 木村清太郎 青木清太郎 伏見彦太郎 友人 總代 親戚 總代

人命救助表彰

河野氏外二名

六日付知事から

石城郡江名町字永崎目下横須賀海兵團一等兵河野不二男(三)氏は八月廿日午後二時頃同村大平地内で同村作山キヨ(四)が溺死せんとするのを救助し石城郡高久村字清水猪狩好雄(五)君は七月廿一日鈴木弘が海岸にて溺死せんとするのを救助し江名町字折戸の和澤七郎(六)君は六月廿六日字中の作海岸で同村吉田武雄の溺死せんとするのを救助したので六日付を以て各れも知事より表彰された

大落盤

一名惨死

石城郡内郷村磐城炭礦第三斜坑内で六日午前零時半頃同村字峰根六號の二居住採炭夫梅津寅吉(一)が同僚渡邊豊次外九名と作業中突然長さ九尺巾尺原さ三尺の岩石落盤に見舞はれ前記梅津は下敷となり頭蓋骨を粉碎して即死外九名は幸じて避難した

四倉蔭市況

相場は依然下向

出廻最盛期過ぐ

四倉蔭市場の晩秋蠶取引は出廻りを稍経過した為め昨六日の取引は白繭八百三十一貫で最高五十五圓八十錢最低四圓、馴五十二圓で依然下向配氣味を續けて居り當業者は各れも出荷を急いでゐる

X 展覽會

二十四五日

磐中校内に

磐城中學校X會主催の全校

御詠歌大會

赤井嶽で

参加者千餘

石城郡赤井村關井嶽藥師では来る十一日午前九時より藥師堂に於いて御詠歌大會を催すが京都本山よりは大會正旭純祭法主が出席されるので目下濱通中通り各地よりの出席申込が千餘名に達して居ると

山崎氏令夫人

たけ子刀自長逝

東京南胃腸病院で

平町鹽屋本舖山崎與三郎氏令夫人たけ子刀自は去る八月中旬發病去月上旬東京市京橋區南胃腸病院に入院加療中であつたが突如數日前から重症に陥つたので山崎與三郎氏同清三氏を始め親近者枕頭に詰切り看護に努めたが其の効なく刻々病勢悪化五日早朝全く危篤状態に陥り遂に昨六日午前五時十分長逝された享年六十三歳夫人は温良貞淑典型的令夫人として知られ其の内助振りは稀に見る處ろ山崎氏が今日縣下財界界の長者として其の聲望を一身にあつめられてゐる背後には夫人のつつましい内助の力が秘められてゐる尙遺骸は夫君與三郎氏以下親近者多數に守られ同日午前十時

告別式

来る十日

別項遂に六日長逝された山崎與三郎氏令夫人たけ子刀自の葬儀は来る十日午後二時古鍛冶町本邸出棺長橋町性源寺に於いて佛式による告別式を執行する事となつた

詐欺漢

懲役一年

安達郡生れの

佐久間吉之助

既報安達郡二本松町百三十三番地生れ目下住所不定無

明日のラジオ

今映も明日も
西の風晴れ

- #### 今晚の部
- 後六〇〇 子供の時間
 - お話「阿倍川の義夫」貞松修蔵
 - 後六二五 英語講座「初等科」(八)岡倉由三郎
 - 後七〇〇 全國ニテリス
 - 後七三〇 講演「北海道の水害凶作に就て」北海道廳長官佐上信一
 - 後八〇〇 ヴァイオリン獨奏 エフ・レム・ジョンバリ
 - 後八二五 アザイデンベルグ
 - 後八四〇 哥澤「金時」外唄・哥澤芝金・三味線 哥澤芝金
 - 後九〇〇 太神樂 丸一
 - 鏡小仙一座
 - 九三〇 時報 全國ニユース 氣象通報 番組豫告

- #### 明日の部
- 前九二〇 料理献立
 - 前一二〇 運動競技
 - 「オリムピック選手歓迎」水上競技大會状況「兵庫縣 寶塚プール」より中繼
 - 後二〇五 休止
 - 後二二五 運動競技「六大學野球リーグ戦状況」
 - 早大對法政(一回)明治神宮外苑球場より中繼(雨天の場合水上競技を四〇〇まで延長す)
 - 後六〇〇 子供の時間
 - ピアノと歌ピアノ 五十嵐のふ子 獨唱 菅野信子
 - 後六二五 英語講座「中

- 等科(二ノ三)ジョークイジャー
- 後七三〇 講演「リットン報告と我國の立場」東京帝大教授 法學博士 神川彦松
- 後八〇〇 ピアノヴァイオリン二重奏 ピアノレオシロタヴァイオリオンレキサンダーセギレフスキー
- 後八三五 ピアノ獨奏 井上園子
- 後九〇〇 尺八連管一鹿の遠音「尺八・荒木古童 同・荒木梅旭

偽大學生に

懲役二年求刑

判決は十三日

既報伊達郡長岡村字新町五十三番地生れ吉田豊七(三六)が去月十日石城郡小名濱字下明神町太田キミ方に忍入り百六十圓記入の郵便貯金通帳及び印鑑を窃取翌日小名濱局より百二十圓を拂下げた外双葉郡其他諸々方々で大學生と詐た詐偽の公判は本日午前九時より平區裁判所に於て中島判事係り上田検事及び渡邊書記立會の下に開廷事

荒井判事

十一日赴任

既報平支部豫審判事に榮轉した元盛岡地方裁判所判事荒井虎雄氏は来る十一日午後三時二十三分平着列車で赴任する事となつたが荒井判事は新潟縣南蒲田郡立川村生れ大正十三年帝大在學

告訴が最高

平署犯罪統計

平警察署に新ける去月中の犯罪統計を見ると總件數八十件、檢舉人員五十五名であるが最も多いのは矢張り不況の影響から告訴が最高二十九件十三名、次は窃盜の二十三件十二名、傷害の八件六名、横領が八件六名、賭博二件七名となつて總數三四割の減少を見たのは署内司法係の大異動があつた爲めらしい

成績品展覽會

石城郡第四區草野小學校外八校兒童圖畫、書方、裁縫、手工、工藝の成績品展覽會は明八日より二日間草野小學校に於て開催されると

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第百六十九席
女流劍客里見靜枝

座頭の借金取り

里見靜枝は女ながらも武藝の教授をしてその名を揚げたが、是と申すも千葉周作生先のお蔭と折々お玉ヶ池の道場に參つて機嫌を聞く、ところこの千葉の門人の中で暴れ者は平手造酒あまりの放蕩に周作先生も呆れて屢々意見をしたが聞き入れない、他の門人は先生は平手の技に惚て是程の放蕩いたすとも破門をなさぬは偏頗であると悪く申す、これでは造酒を道場に置くことは出来ない、大いに此事に就て苦勞してゐた

○「お頼み申します、此方にお在なざる平手先生にお目にかゝりたいものでございます、わたくしは淺草の田中に居ります政の市といふ座頭でございます」
×「わたくしは松葉町に居ります清庵と申す盲人でございます」

千葉の道場へ杖を突いて座頭が二人來た、取次に出た門人はびつくりした
△「何だ、按摩には用はないぞ、道を聞くなら自身番へ行け」
政「わたくし共は道を聞きに參つた者ではございませ



此方にお在なざる平手さんに會ひに來ました、人を馬鹿にしやアがつて、盲人だとして甘くみるな、劍術の先生だとして恐ろしい處はねえや」
△「コレ何を申す、平手どのは兩三日道場へは戻らぬ

さア、其處に居ては出入りに邪魔になる、歸れ、めくら」
政「何を云やアがる盲目とはなんだ、勝手に盲目になつたンぢやア無えや盲瘻の肥立ちが悪くそれで目が見えなくなつたのだ、平手さ

んが居なければ先生にお目にかゝり度うございませ」
「一體どういふ川事があつて參つた」
政「わたくし共は平手さんに金を貸したものでございませ、それはお前さん三月しばかりで十兩でございませ、それがそれより利も入れなければ元金も入れねえ、平手さんは吉原角町の佐野槌に遊びに行きますからそこへ催促に參りますとみえの場所金金の事を持込んで來るとは野暮な奴だ、何れ返して遣るが今は手元には無え十四日の夜仲ノ町の尾張屋まで取に來い、其時に返

せんかと云ふともうコレ今夜は十二時過ぎてゐる、十二時が過ぎてゐれば十五日だ、それだから拂ふことは出来ねえ、晦日の十二時までに陀度來い拂つて遣ると申します、晦日の十二時前に出懸けるとまだ時刻が早い金算段をするから待つてゐると申す、そこでわたくし達尾張屋の店に居りますと聞もなく十二時の拍子木が開きました、こんど平手さんが歸つて來て今度も十二時過ぎてたからもう晦日ではない朔日だ、來月の十四日に来い其時に拂つて遣ると申します、馬鹿にしちやアいけません、めくらを嘔すは罪で御座います、どうぞ返して下さいませと云ふ來月の十四日は陀度拂つてやる、間違ひは無い、武士に二言は無いと申しますから今度は大丈夫だらうと十四日に行きますと誠に氣の毒だが金が出来ない、然し夫れだけの品物を渡すからこれを質に入れて金にしろと小柄を渡しました。

して遣ると云ひましたから十四日の引け過ぎに茶屋の尾張屋へ出懸けますと平手さんの云ふには何故十四日に取りに來ねえ、待つて居たが貴様達が見えねえから使つてしまつたと申す、今日は十四日ではございませ

そこで此處に居る清庵と二人で馬道の佐野屋へ小柄を持つて行き廿兩貸て呉れと云ひますと番頭がこの小柄は結構なものだ横谷宗民の彫つたもので圖は蓋に雁こねならば廿兩や三十兩は貸てもよいがどうも質に取れねえ何故取れないといふに葵の紋が付いてゐる之れを流された時には賣口に困る一體之は何處から出たかさかおめえ方が盗んで來たものではなからうがお役人

衆に見られると縛られるだらうと云はれてびつくりしました、そこで此事を平手さんに云ふと、葵の紋と思ふと質には取れまいが山葵の紋だと思へばよからうと斯う云ひますどうも困つてしまいました。

木村外科醫院

平町五丁目目橋
電話三〇九番

月光に夢を追い
涼風に戀を語る
若人の胸をうるに高鳴る
美給揃つてウルトラサーピス!
シャンデリヤ淡き
鬱金の美酒
涼味満喫の境地!

世界一のカムフラージュ

玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番

◎期 日昭和七年十月十六日(第三日曜)雨天強風順延
◎場 所平町第三小學校庭
◎競技方法 タイム滞空競技

郡下模型飛行機競技大會

◎賞品 A組一等 掛時計一個以下十等迄 B組一等 大正琴一臺以下五等迄
奮て多數參加あらん事を願ふ!
規定及び詳細は主催店へ御問合せを乞ふ!

主催 平町 いづみや飛行機材料店
後援 平町 常磐毎日新聞社
東京 タイヤモンド 東京研究會
模型飛行機